

公衆衛生看護活動展開論演習 目標到達度自己評価表

到達目標	到達できた	ほぼ到達できた	不十分な到達度	到達できたとはいえない
1. 地域の健康レベル向上のためのアプローチ方法と優先順位をつけることを理解できる (A-1)	・地域の健康レベルを上げるために必要なポピュレーションアプローチ/ハイリスクアプローチをあげ、根拠をもった優先順位をつけることができる	・地域の健康レベルを上げるために必要なポピュレーションアプローチ/ハイリスクアプローチについては説明できるが、根拠をもって優先順位をつけることできていない	・ポピュレーションアプローチ/ハイリスクアプローチについては説明できるが、地域における健康レベルの対象において適切なアプローチ方法を説明できない	・地域の健康レベルについて理解できず、ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチについて説明できない
2. 対象の健康問題から健康課題を見出し、適切な解決方を検討することができる (A-1)	・個人・家族・グループ・集団・組織・地域レベルそれぞれの健康問題を解決するための健康課題の明確化を図り、適切な理論・方法を用いて実施を考え、評価できる	・個人・家族・グループ・集団・組織・地域レベルそれぞれの健康問題解決するための健康課題の明確化に至らず、用いた理論・方法については曖昧である	・個人・家族・グループ・集団・組織・地域レベルそれぞれの健康問題は見出せたが、健康課題の明確化に至らない	・個人・家族・グループ・集団・組織・地域レベルそれぞれの現状(実態)はわかったが、健康問題としての列挙ができない
3. 個人・家族の健康課題から集団・組織、地域全体へ視点を広げ、社会資源を用いた地域ケアシステム構築を描くことができる (A-1)	・個人・家族の健康課題から集団・組織、地域全体へと視点を広げ、社会資源を把握し、それらを用いて課題解決のためのマネジメントとしてシステム化を考えることができる	・個人・家族から集団・組織、地域全体へと展開するため、社会資源については把握したが、それらを踏まえた課題解決のためのシステム化構想までには至らない	・個人・家族から集団・組織、地域全体へと展開するため、社会資源については把握したが、その機能や役割までの把握や理解には至らない	・個人・家族の健康課題から集団・組織、地域全体へと視野を広げることができたが、社会資源を活用する発想に至っていない